

FSに関するQ&A

Q1 オリエンテーションに参加できないのですが、そうするとプログラムに参加できないのでしょうか。

基本的には、どちらかの回に必ず出席して頂きたいと思います。各県の担当の方にお会いし、生の声を聞くことができますので、プログラムのイメージが湧くはずでです。どうしても参加できない場合は、事前に、本部学生支援課までご相談ください。

Q2 ワークショップには毎回出席しなければならないのでしょうか。

ワークショップでは、プログラムに参加する上で事前に必ず身につけておくべき知識、課題解決の手法など重要なことを学びます。また、県の担当の方との顔合わせも行います。可能な限り毎回出席するようにしてください。どうしても出席できない回がある場合は、事前に本部学生支援課までご連絡ください。また、出席状況が芳しくない場合は、参加する資格を取り消すことがありますのでご了承ください。

Q3 活動を希望する県は、自分で選べるのか(優先されるのか)。

選考の際には皆さんの希望ができるだけ通るように考慮しますが、レポートの内容や応募状況等により、必ずしも希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

Q4 学業に支障は出ないでしょうか。

各県での現地活動は夏季休業中(主に8月20日から9月20日)を想定しています。夏季休業の前後に現地へ赴くこともありますが、その際には、学業に支障の出ない日程に調整してください。また、学内での調査なども、授業時間以外で行える範囲で取り組んでもらいます。

Q5 卒論や修論の調査も兼ねることはできるでしょうか。

プログラムの課題に対する道筋提案のための活動が主となりますが、空いている時間で、現地活動に支障が出ない範囲で卒論や修論の調査をすることは可能です。なお、課題解決の過程で知り得たことを使って卒論や修論を執筆する場合は、現地の関係者の承諾を得る必要がありますので、注意してください。

Q6 友人と一緒に参加したいのですが、グループで申し込むことはできますか。

多様な学部・研究科、学年の学生で課題に取り組むことが、本プログラムにおいて重要なことのひとつと考えておりますので、個人での申し込みとなります。ご了承ください。

Q7 現地活動の期間(主に8月20日～9月20日)は、ずっと現地にいる必要がありますか。

各県の担当の方と調整の上、期間が短縮される場合や、何回かに分けて滞在する場合などもあります。

Q8 現地滞在中に病気になった場合はどうすればいいのでしょうか。

大学で加入する保険は、事故によるケガや賠償責任保険等が主な補償内容であり、病気については適用されません。現地活動中は保険証を必ず携帯し、病気になった場合等には近くの病院にかかるようにしてください。近くの病院については、あらかじめ自分で確認をしておくと共に、緊急の場合は滞在先の担当の方や大学担当者に連絡するようにしてください。

Q9 現地滞在中に交通事故にあった場合の保険はどうなるのでしょうか。

現地滞在中の自動車・バイク等の運転は禁止しています。交通事故の被害等にあった場合については、大学で加入している保険で対応することができますが、安全には十分に注意をしてください。

Q10 何かトラブルがあった場合、相談できる大学側のスタッフはいるのでしょうか。

何かありましたら、速やかに本部学生支援課までご連絡ください。

Q11 実家や親戚の家に滞在してもよいのでしょうか。

差し支えありませんが、新たな視点で地域の特徴や課題を見出すことがプログラムの趣旨ですので、基本的には、今まで縁のない地域に行っていただきたいと考えています。

Q12 学内作業はどのように進めるのでしょうか。

概要はワークショップでお話ししますが、プログラム担当の先生方や、課題に関係した専門の先生方からアドバイスをもらったり、同じ地域担当の学生で議論を行ったり、図書館での調査等を行ったりすることになるかと思います。

Q13 年度末の報告書はどのような様式ですか。

様式は参加者に追ってお送りしますが、実際の活動概要や道筋提案の内容、感想等を書いていただくものとなっています。